

競技上の諸注意

1 競技規則

本大会は、令和8年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則により行う。

2 競技時間

(1) ◎6月27日(土)

関東クラブ選手権(男女)・社会人選手権(男女)ともにすべて25分－(10分)－25分で行う。(第1延長後、7mTC(5人))

◎6月28日(日)

関東クラブ選手権(男女)の試合は、25分－(10分)－25分で行う。

(第1延長後、7mTC(5人))

社会人選手権(男女)の試合は、30分－(10分)－30分で行う。

(第2延長後、7mTC(5人))

(2) 全会場とも加算式の電光掲示を使用する。

(3) 競技終了の合図はブザー又は笛で行う。

(4) 退場者については、退場者電光掲示で番号と退場時間を表示する。オフィシャル席から入場の指示はしない。

(5) 電光掲示で表記するチーム名・得点は前後半で入れ替える。

(6) 試合は開始時刻どおりに行う。

3 大会使用球

(公財)日本ハンドボール協会の検定球を使用する。

男子、(モルテン) 女子、(モルテン)を使用する。

4 競技会場

(1) 館内は必ず体育館シューズを使用し、外履きと2足制を厳守すること。

(2) 両面テープのみ使用可とする。(黒色両面テープ使用不可) 松ヤニ・松ヤニスプレーの使用も禁止する。また、松ヤニの付いた練習球も使用不可とする。

(3) アップについては、ボールの使用は試合終了後から試合開始までの時間を有効に活用し、各コートで行ってください。駐車場でのボールを使ったアップは禁止します。

甲州市塩山体育館・・・サブアリーナ(ボール使用可・シュート練習や壁打ちは不可)

富士北麓公園体育館・・・サブアリーナ(ボール使用可・シュート練習や壁打ちは不可)

(4) 両日とも、選手の入館は**全館9時00分**からとなっています。ご協力をお願いします。

5 トス・ユニフォームの確認等

(1) 第1試合のトスは試合開始の30分前に行う。第2試合以降は前試合のハーフタイム時に行う。

(2) ユニフォームは濃・淡2色を用意すること。

(3) ユニフォームの確認はトスの時に行う。ユニフォームはすべて持参すること。

(4) 役員・選手は、トス時に(公財)日本ハンドボール協会登録証を提出し、試合前に審判員から本人の確認を受ける。なお、登録証には写真を必ず貼付しておくこと。

6 参加資格等

- (1) ベンチ入りは、役員5名、選手16名までとする。役員登録されていないトレーナーについては、指定場所で待機すること。ベンチ・コート内に入ることはできない。
- (2) ベンチに入る役員には、オフィシャルからIDカードを配付する。また、監督は「A」のIDカードをつけること。監督不在の場合は、他の役員が「A」のIDカードをつけること。

7 裁定委員会及びMO・TD

- (1) 本大会に裁定委員会を置き、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長その他の大会役員関係者をもって委員会を構成する。必要があれば関係者（当該チームの選手を含む）を同席させる場合もある。
- (2) 裁定委員会は、本大会において発生したすべての問題について審議し、その対応を決定する機関である。
- (3) 本大会はすべての試合に、MO1名、TD2名を配置する。

8 諸注意

- (1) 競技中、交代地域、ベンチ後方でのボールの使用は一切禁止する。ボールは、ケース等に収納しておくこと。
- (2) コールドスプレー等は、けが等で使用する以外はバッグ等に収納しておくこと。
- (3) ビデオの撮影は、各チーム1名のみ認める。体育館の電源の使用は禁止とする。
- (4) 体育館の使用に際しては、各都県代表選手としての自覚と誇りを持ち、マナー違反の無いよう行動すること。
- (5) 車は定められた駐車場に駐車し、路上駐車などは絶対にしないこと。

9 その他

- (1) 開閉会式・代表者会議には、式典にふさわしい服装で参加すること。
- (2) 通過認定証について
 - ・代表決定戦の勝利チームに通過認定証を授与する。
 - ・認定証の授与は試合終了後、指定されたコートのオフィシャル席前で行う。
 - ・該当チームは、オフィシャル席前に横一列で並び、通過認定証を受領する。
- (3) 試合のビデオ撮影については、各チームで行うことに特に規制はしないが、SNS などインターネット環境への展開については、十分にご配慮ください。
- (4) 要項に記載のとおり各会場ともコートサイズも小さく、アリーナも非常に狭い体育館です。特に富士北麓公園体育館はベンチでほかの試合チームと背中どおしがぶつかるかもしれないほど狭い間隔です。大会運営にご理解・ご協力をお願いいたします。